

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

# 電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED FAX、トナー、レジン、感光体、エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2024. 8



中国・HUAWEI (A4/モノクロ) X1 シリーズ



リコー (A4/カラー) RICOH P C375



米・ゼロックス (A3/カラー)  
Xerox AltaLink C8200 シリーズ



村田機械 (A3/モノクロ) MF-X5209



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

# サンプルページ

## 「実販情報」より抜粋

### ■実販情報■

F-カラーMFP(A3)-キヤノン-7

キヤノンのA3カラーMFP(41~69ppm)は、2022年から販売は増加傾向にある。50ppm、60ppm機の海外での販売が増加に寄与している。

主な機種名	スピード (ppm)	販売 エリア	出荷台数(台)		
			'22	'23	'24.1Q
imageRUNNER ADVANCE C5550 imageRUNNER ADVANCE DX C5750,C5850	50/50ppm (Mono/Col.)	日本			
		海外			

### <機種概要>

キヤノンの本セグメントエンジンは、共通プラットフォーム間で共通となるキヤナー部は、両社重視。さらに、小サイズ送検知と異常搬送検知で2,680枚、最大2,840枚のドキュメントを処理できる。豊富な給排紙、最新のオフィス環境計を採用。インターネットオフィスを意識。

### <販売台数>

カラーMFPの販売は、コスト削減に貢献し、継続すると予測する。

## 【特集2】「決算」より抜粋

### 特集2-決算

#### 1. 全体

複写機・プリンタメーカー各社が、2024年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を発表した。

<各社の2024年4-6月期/2023年4-6月期決算>

単位:億円

メーカー		2024年4-6月期	2023年4-6月期	増減	
キヤノン	売上高	11,678	10,209	1,469	14.4%
	営業利益	1,184	923	261	28.3%
リコー					
富士フイルムHD					
コニカミルタ					
京セラ					
シャープ					
東芝テック					
ブラザー工業					
沖電気					
セイコーエプソン					

## 【特集1】「プロダクションプリンティング市場の最新動向」より抜粋

### 1. プロダクションプリンタの本体出荷動向

#### 1-1. モノクロ機・カラー機別出荷動向(2011年~2024年)

##### 1) 出荷台数

単位:千台

品目	暦年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
		%	%	%	%	%	%	%
モノクロ	対前年比							
カラー	対前年比							
総合計	対前年比							

単位:千台

品目	暦年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年(見込)
		%	%	%	%	%	%	%
モノクロ	対前年比							
カラー	対前年比							
総合計	対前年比							



2023年における全世界のプロダクションプリンタ(PP)出荷台数は6万6,100台。前年比115%と大幅な増加を達成したが、2019年実績比では91.3%と依然としてパンデミック前の水準を大きく下回っている。

モノクロ・カラー別では、モノクロPPは1万7,500台(2019年実績比101%)、カラーPPは4万8,600台(2019年比88.2%)と後者の不振が目立つ。特に欧州市場の回復遅れがカラーPPの台数伸び悩みにつながっており、2024年までは同様の傾向が続く見通しである。

# サンプルページ

## 「その他情報」より抜粋

### ○ーリストラーキャノンー1

キャノンの米国販売子会社 Canon U.S.A. のリストラに関する複数のニュースが現地メディアで報じられている。

一つ目は日刊紙「Newsday」が7月下旬に伝えたもので、Canon U.S.A が米ニューヨーク州メルビル本社で100~150人(全体の9%~14%の労働力に相当)を解雇し、同州サフォーク郡から受けている免税の一部を失う可能性があるとの報道である。同紙によ

用を維持することを期間で総額700万ドル削減を受ける可能性が二つ目は週刊ビジタもので、Canon U.S. ティング組織下で運販売・保守を提供すU.S.A. に統合するとに Canon Business 合して誕生した Can業の売上高は、この37%減少しているどベースでは(2024年可能ではない方向に)なかった。運営コス競合他社よりも小さ



モデル名
価格
印刷スピード
LAN接続

エンジンは前用し、HUAWEI っている。同端末販を進めていく。尚、同社は自社究開発を続けてい

## 「その他情報」より抜粋

### ■その他情報■

#### ○ープリンターHUAWEIー1

中国・HUAWEI は8月に A4 モノクロ MFP「X1 シリーズ」を発売した。スピードやネットワーク環境が異なる3モデル(レノボエンジン)をリリース。

世界有数の通信機器メーカーである華為技術有限公司 (Huawei Technologies) は、2021年11月に A4 モノクロ MFP の「PixLab X1」(1,899 元、28ppm) 及び「PixLab B5」(2,199 元、30ppm) の2機種を発表、レーザープリンタ市場に参入した。(いずれもレノボからの OEM 機)。

これまでの2モデルに追加。「X1」(1,899 元、30ppm) しているが、家庭

## 「新製品及び消耗品情報」 【北米】<オフィス向け>より抜粋

### 【北米】

#### <オフィス向け>

#### N-カラーMFP(A3)ー米・ゼロックスー1

商 品 名	Xerox AltaLink C8200 シリーズ			
標 準 価 格	n/a (前任機\$10,389~\$39,210)			
発 売 年 月	2024年8月15日			
出力サイズ	A3			
ス ピ ー ド	C8270: カラー・モノクロとも70枚分(A4)			
	C8255: カラー・モノクロとも55枚分(A4)			
	C8245: カラー・モノクロとも45枚分(A4)			
	C8235: カラー・モノクロとも35枚分(A4)			
	C8230: カラー・モノクロとも30枚分(A4)			
複 合 状 況	コピー	プリンタ	FAX	スキャナ
(※はオプション)	○	○	※	○
目標販売台数 (全世界)	(弊社推定) 100,000 台/年			



Xerox AltaLink C8200 シリーズ

### 【位置付け】

新規	「Xerox AltaLink C8200 シリーズ」は 2020 年 7 月発売の「同 C8100 シリーズ」の後継機となる A3 カラーMFP。AI 支援テクノロジーを使用することで反復的で複雑なタスクを安全に自動化する機能を搭載した。プリントエンジンは富士フイルムビジネスイノベーション (以下 FBI) が OEM 供給しており、基本機能は前任機を踏襲している。ただし、消耗品には「HD Super Fine EA Toner plus」という名称のゼロックス製の低融点トナーが採用されている
○ 後継	(粒径の大きさ以外は、FBI の Super EA-Eco トナーとほぼ同じ物性を実現したものとみられている)。
○ OEM受	

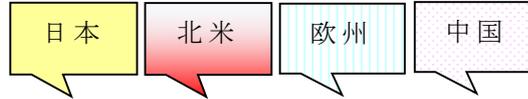
### 【販売ターゲット】

ターゲット 主に北米・欧州の大企業向け。

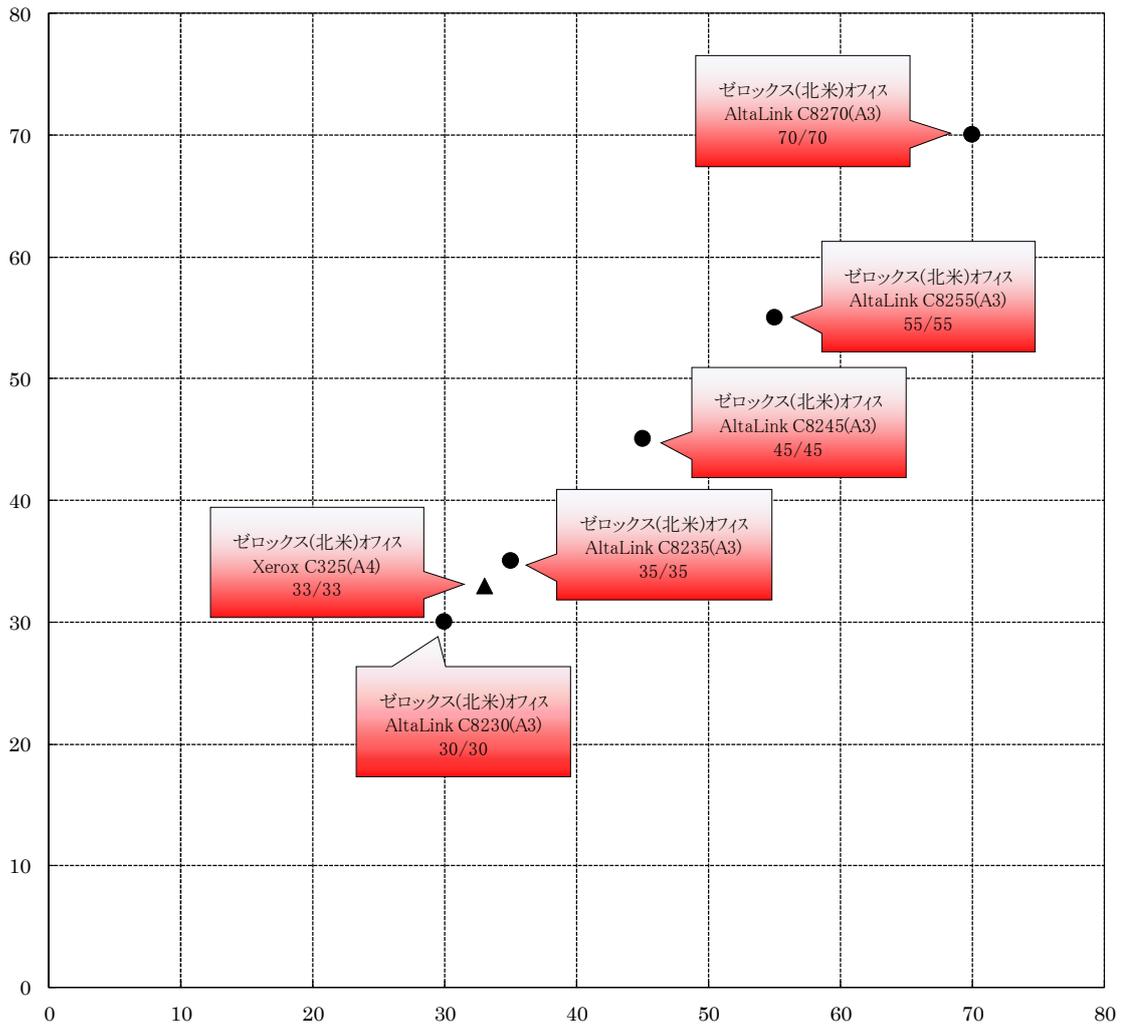
# 2024. 8 Executive Summary

[今月の新製品]

1. カラーMFP (A3・・・●、A4・・・▲)



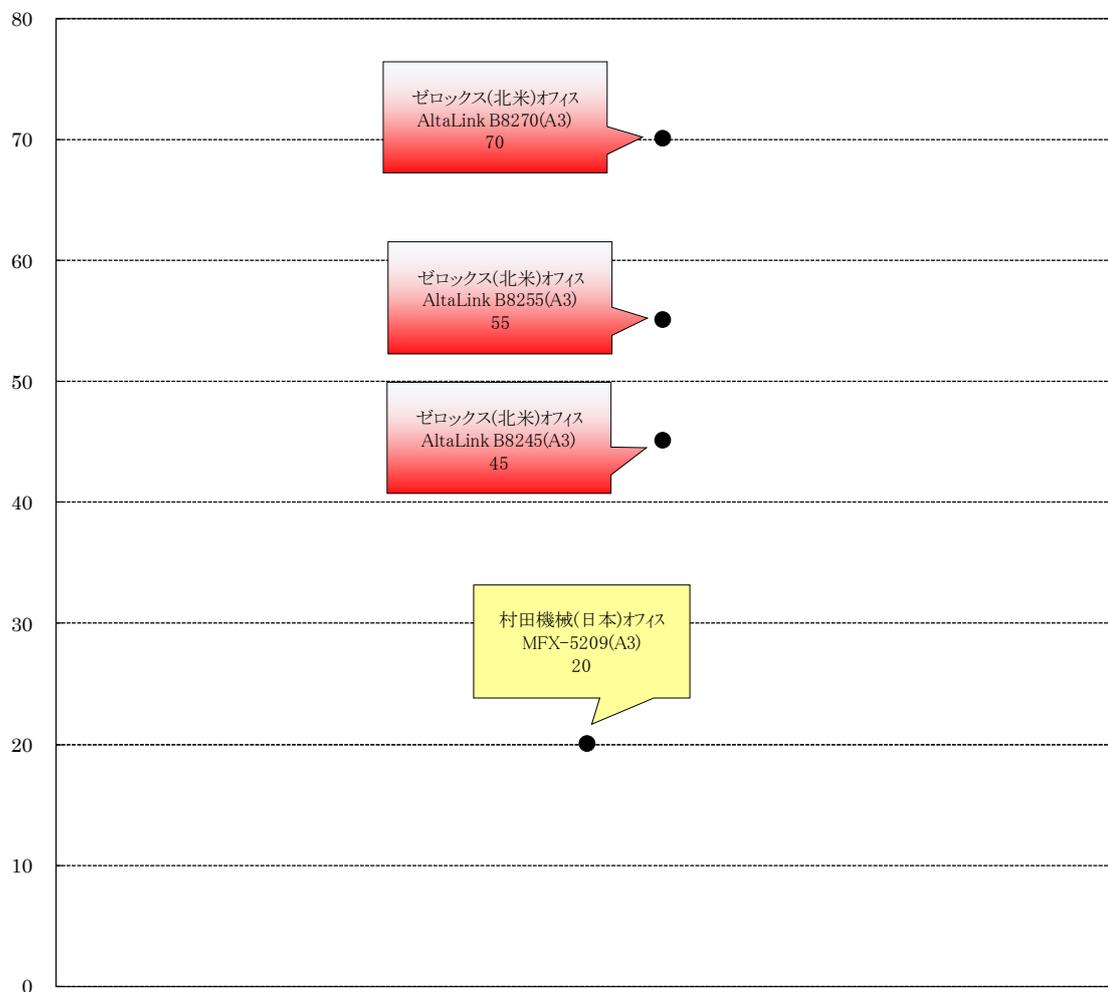
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

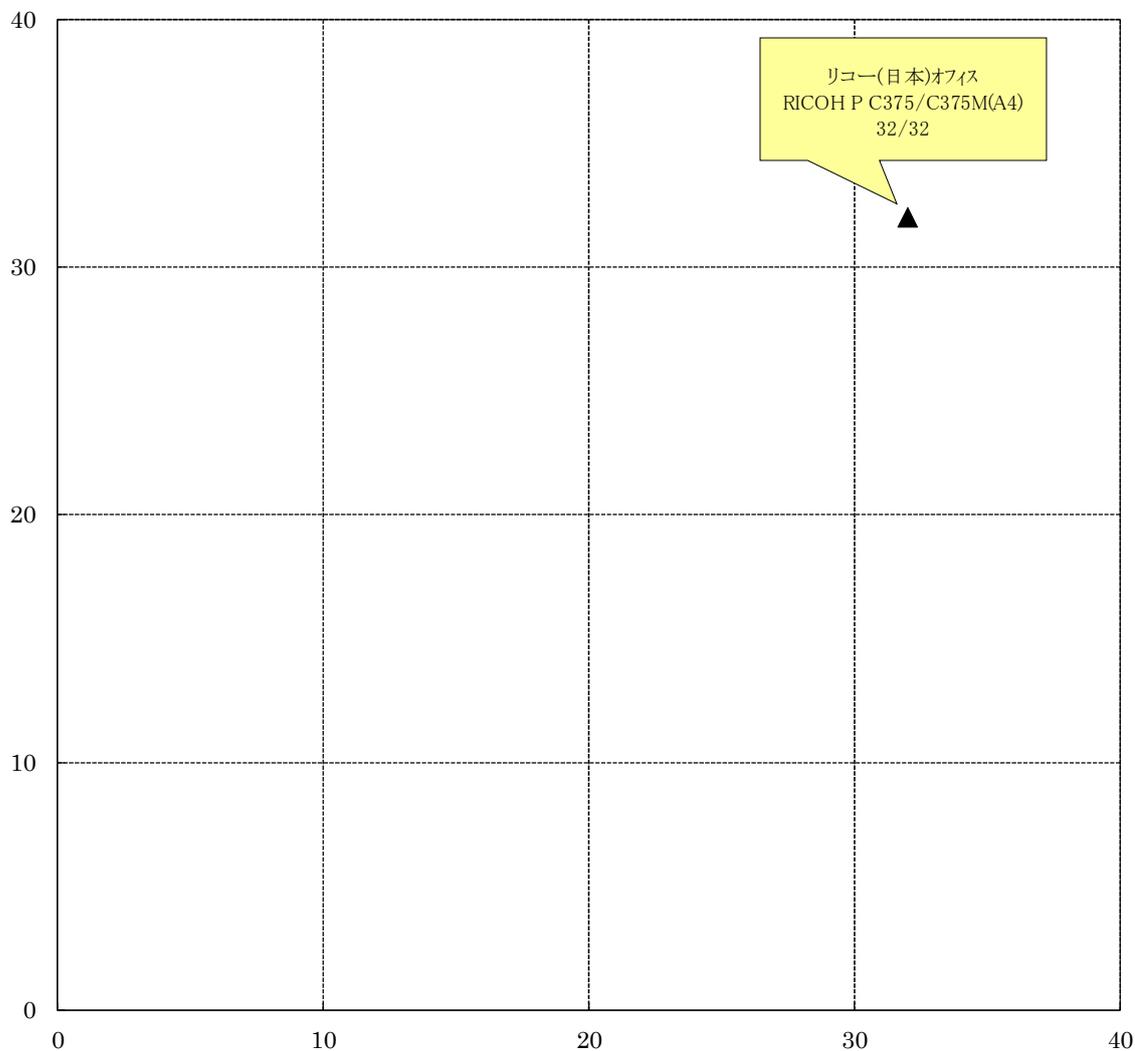
2. モノクロ MFP (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



3. カラープリンタ (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

## 2024年8月号目次

## ■ 特集 ■

特集1ープロダクションプリンティング市場の最新動向	1
1. プロダクションプリンタの本体出荷動向	2
1-1. モノクロ機・カラー機別出荷動向（2011年～2024年）	
1) 出荷台数	
1-2. 製品レンジ別の出荷台数（2023年）	3
1) モノクロPP  2) カラーPP	
1-3. メーカー別出荷台数シェア（2023年）	4
1) モノクロPP  2) カラーPP	
1-4. プロダクションプリンタ向けトナーの生産数量（2019年～2023年）	5
1) 全体  2) メーカー別生産量シェア（2023年）	
2. 各社	7
[1] 富士フイルムビジネスイノベーション	
[2] コニカミノルタ  [3] リコー  [4] キヤノン  [5] その他	
特集2ー決算	27
1. 全体	27
2. 各社	28
[1] キヤノン  [2] リコー  [3] 富士フイルムホールディングス	
[4] コニカミノルタ  [5] セイコーエプソン  [6] ブラザー工業	
[7] 京セラ  [8] シャープ  [9] 東芝テック  [10] 沖電気工業	

## ■ 実販情報 ■

FーモノクロMFP（A3）ーキヤノンー7 （imageRUNNER ADVANCE C5550他）	35
FーモノクロMFP（A3）ーリコーー5 （IM C4500他）	36
FーモノクロMFP（A3）ー富士フイルムBIー4 （Apeos C4570他）	37
FーモノクロMFP（A3）ー京セラドキュメントソリューションズー5 （TASKalfa 4551ci他）	38

## ■ 新製品及び消耗品情報 ■

[国内]

&lt;オフィス向け&gt;

Nーカラープリンタ（A4）ーリコーー3 （RICOH P C375/C375M）	39
---	----

NーモノクロMFP (A3)ー村田機械ー2	4 6
(MFX-5209)	

---

**〔北米〕**

＜オフィス向け＞

NーカラーMFP (A3)ー米・ゼロックスー1	5 2
(Xerox AltaLink C8200 シリーズ)	
NーモノクロMFP (A3)ー米・ゼロックスー2	6 1
(Xerox AltaLink B8200 シリーズ)	
NーカラーMFP (A4)ー米・ゼロックスー3	6 8
(Xerox C325)	

---

**■ 生産情報 ■**

Pートナーーコニカミノルターー1	7 4
(トナーの生産量・金額推移/「2024年版トナーマーケット総覧」より)	
Pートナーー巴川コーポレーションー1	7 5
(トナーの生産量・金額推移/「2024年版トナーマーケット総覧」より)	
Pートナー用キャリアー関東電化工業ー1	7 6
(トナー用キャリアの生産本量・金額推移/「2024年版トナーマーケット総覧」より)	
Pーローラーー金陽社ー1	7 7
(加圧ローラーの出荷本数・金額推移/「2024年版ローラー系部品マーケット総覧」より)	

---

**■ その他情報 ■**

OープリンターーHUAWEIー1	7 8
(中国・HUAWEIがA4モノクロMFP「X1シリーズ」を発売)	
Oーリストラーキヤノンー1	7 9
(キヤノンの米国販売子会社 Canon U.S.A.でリストラ)	
Oー融資サービスーHPー1	8 0
(HP製品を対象にした米国消費者向けの包括的融資サービスを新規立ち上げ)	
OーMITSーリコーー1	8 1
(専門技術・機器サポートを提供するサービスセンターをアップグレード)	
Oー戦略的提携ー富士フイルム/Jet Technology Groupー1	8 2
(富士フイルムが英国の Jet Technology Group と戦略的提携を締結)	
OーM&AーKingswood Capital Management/Kodak Alarisー1	8 3
(Kingswoodが英国年金保護基金から Kodak Alaris を買収)	
Oークラウドーコニカミノルターー1	8 4
(コニカミノルタの米国販売会社が IIM ディーラープログラムを発表)	
Oー統計ーJBMI Aー3	8 5
(「2024年複写機・複合機の第2四半期出荷実績」を発表)	

---

○ー業界関連情報ー各社ー8 .....	8 6
セイコーエプソンが大判インクジェットプリンタ水性顔料・昇華転写 64 インチ 対応の 2 機種を新発売／富士フイルムシステムサービスの「郵送請求キャッシュ レスサービス」を佐賀県で初めて嬉野市が導入／HP がファームウェア訴訟で和 解／キヤノンシステムアンドサポートが「IT 運用アウトソーシングサービス」を 提供開始／シャープが「SHARP 共創 PROGRAM」を開始	

統計速報
------

統計全体のあらまし .....	9 5
複写機統計（生産／受入の内訳／販売／月末在庫） .....	9 6
プリンタ統計（生産） .....	1 0 0
事務用機器輸出統計 .....	1 0 1
（ネットワーク対応 MFP／単機能機）	
事務用機器輸入統計 .....	1 0 4
（ネットワーク対応 MFP／単機能機）	

# 月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から刊行。電子写真製品に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、プロダクションプリンタ等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の国内外市場動向、海外への進出情報、国内外展示会情報、OEM情報等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会員様は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥700,000(消費税別) 月会費 ¥60,000(消費税別)

英文版 \$7,000(消費税別)  
2014年11月号からスタート

特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)	
2024.7	・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。
2024.6	・drupa 2024:5月28日(火)から6月7日(金)までの11日間、ドイツのデュッセルドルフにて「drupa 2024」が開催。同展示会に出展されたデジタル印刷関連の注目機種を取り上げつつ、最新の市場トレンドをレポート。
2024.5	・定着器用部材(ローラー・ベルト)の最新市場動向:定着器用部材の最新市場動向と最新トレンドを概観。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2024年度3月期(キヤノンは2023年12月期)の決算と2024年度見通し・予想を概括。
2024.4	・感光体市場:全世界の感光体市場を概観。 ・APPPEXPO 2024:第31回上海国際広告技術設備展覧会での、サイン印刷市場の概要と同展示会に出展された大判インクジェットプリンタメーカーの展示を中心にレポート。
2024.3	・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2023年実績)を報告。
2024.2	・全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:複写機・複合機(MFP)の最新出荷動向を取り上げた。全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・全世界のホーム&オフィス向けインクジェットプリンタ出荷動向:ホーム&オフィス向けインクジェットプリンタの最新出荷動向を取り上げた。
2024.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を概説。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェット技術の最重要パーツであるインクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.12	・Formnext 2023:ドイツのフランクフルトで開催された展示会について、特にバインダージェティングなどのインクジェット技術に注目し、同技術を採用する主要3Dプリンタメーカーを中心に取材を実施。 ・複合機・プリンタ業界における2023年の振り返りと2024年の展望:本誌で取り上げた2023年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2024年の業界を展望。
2023.11	・RemaxWorld Expo 2023:同展示会に出展したアフターメーカーを直接取材し、主要消耗品メーカーなどの最新情報をレポート。 ・Formnext 2023(写真速報):中ドイツのフランクフルトで開催された同展示会の様子を写真速報版として掲載。 ・決算:複合機・プリンタメーカー各社が発表した2023年4~9月期(中間期)の決算(キヤノンのみ1~9月期)を概観。
2023.10	・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・中国3Dプリンタ市場:中国における3Dプリンティング技術発展の歴史を概観し、同市場を牽引する主力メーカーの動向及び中国3Dプリンタ市場全体を考察。
2023.9	・プロダクションプリント(PP本体・PP向けトナー)の最新市場動向:主要メーカーの2022年最新出荷台数実績と製品レンジ別の市場動向、PP向けトナーの生産量動向を概説。
2023.8	・トナー用レジンの最新市場動向:トナー用レジンの世界市場と日本メーカーの最新動向を概観。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2023年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概括。
2023.7	・ITMA 2023:同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。 ・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。
2023.6	・中国Ninestarの企業分析:Ninestarの徹底分析を実施。レーザープリンタや交換消耗品の売上高や出荷数量推移をまとめたほか、部材の主要調達関係も整理している。 ・ITMA 2023(速報版):展示会の主要6社の出展状況を写真速報版で掲載。
2023.5	・Interpack 2023:ドイツでの同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポートする。現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年度(キヤノンは2022年12月期)の決算と2023年度見通しを概括。
2023.4	・感光体市場:全世界の感光体市場を概観。感光体需要の頭打ちに加え、原材料価格やエネルギーコストも高止まりしており、今後は技術力だけではなくコスト力も含めた感光体メーカーとしての総合力がより重要となると考察。
2023.3	・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2022年実績)を報告。
2023.2	・全世界の複写機・複合機(MFP)出荷動向:全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:同業界の状況をレポート。 ・プリンテッドエレクトロニクス・コンファレンス:プリンテッドエレクトロニクス市場の印刷方式を概観しながら、韓国、オランダ、フィンランドで開催された展示会を写真速報で紹介。
2022.12	・IGAS 2022:主要出展企業と出展状況等をレポート。 ・複合機・プリンタ業界における2022年の振り返りと2023年の展望:本誌で取り上げた2022年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2023年の業界を展望する。
2022.11	・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~9月期(中間期※キヤノンは1~9月期)の決算を概括。 ・JIMTOF 2022:AM(Additive Manufacturing)エリアに出展した3Dプリンタ関連メーカーを中心にレポート。
2022.10	・Labelexpo Americas 2022:展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。(現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施)
2022.9	・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。近年、市場全体が縮小に向かう中、事業売却・アウトソーシング等様々なトナーの今後の可能性をレポート。 ・サイン&ディスプレイショー 2022:9月1~3日に東京ビッグサイトで開催された展示会の出展状況をレポート。
2022.8	・産業用・商業用インクジェット市場:事務機メーカーのインクジェット技術による市場開拓の状況を取り上げた。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概括。

# 株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F  
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204  
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp  
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2024年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

※セット価格は日本語版+英語版

	①日本語版		②英語版		セット ①+②	部数	金額
	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)		
<b>《 定期刊行物 》</b>							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート (1986年～) 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 (PDF版) 月会費：¥60,000 (PDF版)	毎月 20日	\$7,000 (PDF版) \$600 (PDF版)	毎月末	¥800,000		
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000 ～ (PDF版)	2021年 7/27～			
<b>《 2024年刊行予定物 》</b>							
* 2024年版[感光体マーケット総覧] (263頁) 『業界変革・再編時代における感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/26	\$5,200 (PDF版)	4/15	¥700,000	日 英	
* 2024年版[ローラー系部品マーケット総覧] (372頁) 『市場成熟に向き合う部品業界の最新動向』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	6/7	¥700,000	日 英	
* 2024年版[トナーマーケット総覧] (582頁) 『業界再編に向けて動き出すトナー業界の総合分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27	\$6,000 (PDF版)	8/16	¥700,000	日 英	
<b>《 2023年刊行物 》</b>							
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/22	\$5,200 (PDF版)	4/21	¥700,000	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	注文 対応		日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧] (587頁) 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27	\$6,000 (PDF版)	7/28	¥700,000	日 英	
* 2023年版[中国市場(ハードウェア・消耗品)] (222頁) 『中国企業の台頭により競争が激化する中国市場の徹底分析』	¥300,000 (PDF版)	8/29	—	—			
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『ものづくりのスマート化を切り拓く インクジェット業界の最新市場動向』 (389頁)	¥500,000 (PDF版)	10/27	\$5,000 (PDF版)	12/8	¥700,000	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧] 『変革期を迎えたプリンティング業界の将来性分析』 <標準版(メーカー別総合分析版)> (674頁) <標準版>+<長期予測特別版> (753頁)	¥600,000/ ¥700,000 (PDF版)	標準版： 12/22 長期予測 特別版： 12/26	—	—			
<b>《 その他の刊行物 》</b>							
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000 (PDF版)	2020年 12/23		日 英	
* 2020年版[緊急レポート (コロナショックと業界大規模再編)] (240頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる 事務機業界の地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020年 4/24	\$3,000 (PDF版)	2020年 6/19		日 英	
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500 (PDF版)	2014年 10/31		日 英	